

2 主要な事業の状況

(1) 大竹を愛する人づくり

特別支援教育推進事業

14,175千円

(担当:総務学事課)

障害のある児童・生徒に対して、学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障害の児童・生徒に対しても、さまざまな場面で適切に支援することができるよう、小・中学校に支援員の配置等を行います。

また、教職員を対象に特別支援教育に関する研修を実施し、特別支援教育の理解を深めます。

拡充

奨学金貸付事業

25,308千円

(担当:総務学事課)

子どもたちが経済的な理由により修学の機会がなくなることのないよう、学資の貸付を行います。

平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を新たに導入し、制度の充実を図ります。

新

小中一貫教育推進事業

3,174千円

(担当:総務学事課)

「笑顔・元気・かがやく大竹っ子」を育成するために、9年間の学びを一体のものにとらえ、発達段階を踏まえた一貫性のある継続的な教育を行い、魅力的な学校づくりに向けて、小中一貫教育を推進していきます。

こども相談室運営事業

8,844千円

(担当:総務学事課)

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

小方小学校・小方中学校移転改築事業

1,701,789千円

(担当:総務学事課)

老朽化が進み、耐震性能についても補強が必要であるとの診断がされている小方小学校・小方中学校を、岩国大竹道路の整備予定地や交通量の多い国道2号に近接している現在地から、教育環境に適した大願寺地区造成地に移転し、小中一貫教育を見据えた施設一体型の学校として整備します。平成23年度から平成24年度にかけて整備を行います。

小学校パソコン教室整備事業

新

7,000千円

(担当:総務学事課)

市内小学校パソコン教室の機器を更新します。これまで児童2人につき1台であったパソコンを、1人1台使用できるよう整備します。より情報機器を活用できる教育環境を整えます。

放課後子ども教室事業(放課後子どもプラン)

4,500千円

(担当:生涯学習課)

次世代育成支援事業として、地域や各団体・企業などと連携を図り、「放課後こども教室」を開催します。地域の方々に協力していただき、放課後や週末などを利用して、子どもたちに学習機会や体験活動の場を提供します。

放課後児童クラブ事業(放課後子どもプラン)

29,996千円

(担当:生涯学習課)

保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童について、保護者が安心して働けるよう、市内3ヶ所の「放課後児童クラブ」において学校授業の終了後に遊びや生活指導を行い、子どもたちの健全な育成を図ります。

みどり児童クラブ建設事業

新

87,035千円

(担当:生涯学習課)

現在、小方小学校敷地内にあるみどり児童クラブを、小方小学校の移転改築にあわせて、新しい学校敷地内に建設します。

1クラス40人規模への移行を視野に入れ、よりきめ細かな対応ができる施設を整備します。